

Mémoires 2019

菊花賞

第80回菊花賞「G1」優勝馬ワールドプレミア



名手と勝ち取った栄冠

▶ 兄ワールドエースが果たせなかったG1制覇の夢を叶えたワールドプレミア。



ダービー馬ロジャーパローズは故障で引退し、トライアルの神戸新聞杯を圧勝した皐月賞馬サトノルーニアは天皇賞(秋)へと駒を進めたため、春のクラシック勝ち馬が不在となった第80回菊花賞。混戦ムードが高まったが、皐月賞(2着)とダービー(3着)で優勝争いを繰り広げたヴェロックスが単勝オッズ2.2倍の1番人気

に。そしてやや離れた2番人気には、クリストフルメール騎手を配したメンバー中唯一の重賞2勝馬ニシノデイジーが推され、神戸新聞杯(3着)で菊花賞への優先出走権を得たワールドプレミアが3番人気となってスタートを迎えた。

カウディーリオが主導権を握り、ヴェロックスは4番手の好位置を取ると、ワールドプレミアはそれを視界にとらえる中団のイン、7番手を追走。ニシノデイジーは馬群の後方で進出の機を狙った。12秒台のラップが続く息の入らない流れのなか、各馬は折り合いに気を配りながら息を潜める。そして勝負どころとされる3コーナーの下りから徐々にペースを上げ、馬群は最後の直線へと向かった。

粘るカウディーリオの外からヴェロックスが先頭をうかがうが、その刹那、2頭の真ん中からワールドプレミアが一気に先頭へと躍り出る。後方から8番人気のサトノルーニアが追い込むが、それをクビ差振り切ってビッグタイトルを獲得した。

若葉ステークス2着で皐月賞への優先出走権を手にしていたワールドプレミアは、脚部不安のために期待された春シーズンの休養を余儀なくされた。約半年後、復帰戦の神戸新聞杯で3着に入り、菊花賞出走へと漕ぎ付けたのだった。鞍上の武豊騎手は、1988年スーパークレークでの史上最年少G1勝利を皮切りに菊花賞を4勝していたが、今回を加え、自身の持つこのレースの歴代最多勝利記録を「5」に伸ばした。昭和、平成、令和と、実に三つの元号で勝ち星をあげたことになる。京都の長距離戦を知り尽くした“レジェンド”がまたひとつ金字塔を打ち立てた。



▲ インコースでレースを進めたワールドプレミア(帽色・赤・左)は、ロスなく直線へ。

第80回菊花賞[G1]

10/20 京都競馬場 3000m(芝・右・外) 晴・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ワールドプレミア	牡	3	57	武 豊	友道 康夫	3:06.0	③	⑦⑥⑧⑥
2	サトノルーニア	牡	3	57	福永 祐一	池江 泰寿	クビ	⑧	⑩⑪⑫⑦
3	ヴェロックス	牡	3	57	川田 将雅	中内田充正	1	①	④④④④
4	テイバインフォース	牡	3	57	横山 典弘	寺島 良	3/4	⑫	⑮⑮⑮⑮
5	メロディーレーン	牝	3	55	坂井 瑠星	森田 直行	クビ	⑫	⑮⑮⑮⑮
6	レッドジェニアル	牡	3	57	酒井 学	高橋 義忠	1	⑦	⑦⑧⑧⑦
7	タガノディアマンテ	牡	3	57	池添 裕信	嶋 一歩	クビ	⑬	⑫⑫⑧②
8	カウディーリオ	牡	3	57	M.デムーロ	堀 宣行	ハナ	⑬	①①①①
9	ニシノデイジー	牡	3	57	C.ルメール	高木 登	1/2	②	⑫⑫⑬⑫
10	ヒシゲッコウ	牡	3	57	C.スミヨン	堀 宣行	クビ	④	⑫⑫⑧⑦
11	ホウオウサーベル	牡	3	57	蛸名 正義	奥村 武	4	⑤	⑦⑧⑦④
12	メイショウデンゲン	牡	3	57	池添 謙一	池添 兼雄	1 3/4	⑮	④⑥④⑮
13	ザダル	牡	3	57	石橋 脩	大竹 正博	1 3/4	⑥	⑩⑩⑬⑫
14	ナイママ	牡	3	57	柴田 大知	武藤 善則	3	⑮	③③③⑦
15	ユニコーンライオン	牡	3	57	岩田 康誠	矢作 芳人	1 1/2	④	④④④⑫
16	シフルマン	牡	3	57	松山 弘平	中尾 秀正	ハナ	⑩	⑮⑮⑮⑮
17	ヴァンケドミンゴ	牡	3	57	藤岡 佑介	藤岡 健一	ハナ	⑮	②②②②
18	カリボール	牡	3	57	藤井勘一郎	須貝 尚介	大差	⑨	⑮⑮⑮⑮

単勝 ⑤650円 複勝 ⑤180円 ⑬390円 ⑬120円 枠連(3-7) 610円
馬連 ⑤-⑬4,680円 馬単 ⑤-⑬7,640円 ワイド ⑤-⑬1,460円 ⑤-⑬320円 ⑬-⑬720円
3連複 ⑤-⑬-⑬3,070円 3連単 ⑤-⑬-⑬23,510円

ハロンタイム 12.9-12.4-12.3-12.6-12.2-12.2-12.7-12.7-12.5-12.8-12.5-12.0-12.0-11.8-12.4
通過タイム 600m ③37.6-800m ⑤50.2-1000m ①1:02.4-1200m ①1:14.6-1400m ①1:27.3-1600m ①1:40.0-1800m ①1:52.5-2000m ②05.3-2200m ②17.8-2400m ②29.8-2600m ②41.8-2800m ②53.6

優勝馬 **ワールドプレミア**
2016.2.1生 父ディーブインパクト 母マンデラ 母の父Acatenango
安平・ノーザンファーム生産 馬主:大塚亮一氏